

平成 30 年度アイランドシティ整備事業環境監視結果についての評価及び意見

平成 30 年度の環境モニタリングは、埋立地の周辺などで、騒音、水質、鳥類の飛来状況について実施し、当委員会はその結果についての評価を行った。

監視基準を設けている騒音、水質については、監視基準値を下回っていた。

鳥類の飛来状況は、シギ・チドリ類やカモ類をはじめとする全種数、全個体数ともに例年並みであるとともに、鳥類の餌生物量についても例年並みであると評価した。

以上のとおり、特段の対策を必要とする変化はみられず、埋立地周辺の環境は保全されていることが確認された。

なお、鳥類の飛来状況調査については、シギ・チドリ類など自然環境の影響等と考えられる変動が見られるが、飛来状況や餌環境等を総合的に評価すると、工事着工前の生息環境と比べ大きな変化は見られていない。また、今後、鳥類の飛来に影響が考えられる整備はないため、平成 30 年度監視計画のとおり、アイランドシティ整備事業の事後調査としての鳥類調査は終了して問題ない。

騒音、水質調査については、工事の状況に応じて監視を行うとともに適切な保全対策を講じること。

令和元年 7 月 30 日

アイランドシティ整備事業環境モニタリング委員会

会長 柳 哲雄